

11/20 安全で安心して住める町を目指して



事業所への協力要請活動(旭郵便局)

「自分たちのまちは、自分たちで守ろう」を合言葉に、旭市エンジンパトロール隊が、集団防犯パトロールを行いました。市役所での出発式の後、小学校区ごとに別れ、事業所や道行く人たちにチラシを配布するなどして、注意を呼び掛けていました。

11/22 災害時に燃料の優先供給を



協定書を手にする鈴木組合長(左)、明智市長(右)

市では、JAちばみどりと「災害時における石油類燃料の供給に関する協定書」を締結しました。この協定で、災害時に活動する公用車、公共施設の発電、災害復旧作業への燃料提供が優先的に行われるようになりました。鈴木組合長は「救援活動がスムーズにできるよう、支援したい」と話していました。

11/24 伝えたい昔話を影絵で



影絵に挑戦する子どもたち

東総文化会館で、中央小お話ボランティア・旭地域お話し会による「ちばなし〜ちばの昔話・かげ絵〜」が、開催されました。富津市の昔話「かっぱのおんがえし」の影絵上演、

子どもたちの影絵体験する姿などに、訪れた人のたくさんの笑顔がありました。

11/25 共に考える津波対策



質問や要望が相次ぐ会場

海岸減災林の整備や避難施設などの複合的な津波対策に関する説明会が、飯岡保健センターと矢指小で行われました。

来場者たちからは、堤防の高さや川を遡上する津波をどうするかなど、質問や要望が挙がっていました。

中和小すずがね祭り

「ふわり」空中浮遊 360度のパノラマ



3階建ての校舎より高く上昇。笑顔の児童

学習成果の発表などをして、保護者や地区住民との交流を図る、中和小のすずがね祭りが11月17日に開かれ、熱気球の搭乗体験が行われました。

熱した空気が上昇することを、学んでもらおうとして行われたこの体験。この日、バーナーが熱した空気で膨らんだ気球は見事に大空へ。つかの間の空中浮遊でしたが、児童たちは「すごい!」「360度のパノラマだ」などと、笑顔で話していました。

第50回青少年健全育成剣道大会

決戦! 小中学生剣士が集結



「めーん」1本が決まる

青少年の健全育成を目的に剣道大会が12月1日、二中体育館で開催され、12団体136人が参加しました。各部門の優勝は以下のとおり。 ※敬称略

【小学校】団体／低学年：滝郷学園A 高学年：旭少年剣道団木の実会 **個人**／低学年：加瀬龍誠(飯岡少年剣道団) 高学年：中居勝利(滝郷学園) 低学年(奨励)：渡邊雅毅(滝郷学園) 高学年(奨励)：江ヶ崎皓行(旭市民剣道クラブ)

【中学校】団体／男子：二中 女子：一中 **個人**／男子：菅谷臣哲(二中) 女子：齋藤凜(二中)

学びの成果を発表

第8回旭市生涯学習フェスティバル

旭市生涯学習フェスティバルが11月17日、東総文化会館で開催されました。作品の展示や実践発表のほか、意見発表大会や文化講演会が行われ、市内外から約800人が会場を訪れました。

小ホールで行われた青少年意見発表大会では、小学生から社会人までの14人が、将来の夢、家族の大切さなど、自分の思いや体験を発表しました。また大ホールの文化講演会では、ラジオのパーソナリティーや女優として活躍する、きゃんひとみさんが「前向きで元気な人生」というテーマで講演。常に前向きでパワーあふれる話を聞かせてくれました。



①



②



③

- ①意見発表を行った14人
- ②講演を行うきゃんひとみさん
- ③学びの作品が展示される会場

第3回旭市民体育祭

スポーツで深まる絆

市民がスポーツを通じて絆を深め、明るく元気な旭をつくろうと、旭市民体育祭が11月18日、東総運動場で開催されました。

市内15の小学校区で競い合う採点種目と、子どもからお年寄りまで参加できるオープン種目のほか、飯岡中や干潟小による吹奏楽、地元アスリートの模範演技、お囃子なども行われ、参加選手たちや声援を送る観客たちに、たくさん笑顔が見られました。



笑顔が連なるロープジャンプ

海上産業まつり～ふるさと・ふれあいフェスティバル～

悪天候でも「旭」を求めて多くの人が



海上会場だけの「野菜宝船」の即売会には人だかり

海上コミュニティ運動公園で11月23日、海上産業まつりが開催されました。

この日は、朝から雨が降るあいにくの天候。それでも15,000人が詰め掛け、旭自慢の新鮮野菜を買い求めたり、ステージイベントに声援を送ったり、会場はにぎわっていました。またこの天候で、まつりの最後を飾る恒例の餅投げは中止。用意されていた餅は、訪れていた人に手渡されました。